

連携強化WGの活動報告

資料 3-3

<目的>

- ・災害廃棄物処理に係る連携における課題を自治体、一部事務組合や広域連合、民間事業者それぞれの立場から抽出し、解決策を検討することで、道内外における今後の災害廃棄物処理における連携強化を図る。

<開催概要（オンライン）>

回	日程	主な内容	参加者
第1回	令和6年 11月12日	話題提供①: 連携の重要性に係る事例紹介 意見交換①: 協定締結状況 意見交換②: 連携事項と課題	22名
第2回	令和7年 1月15日	話題提供②: 事業者との連携、平時からの調整・確認等 意見交換③: 平時に調整・確認する事項と課題 意見交換④: 課題解決の方策について	21名

<ワーキンググループメンバー>

- ・（総合）振興局 4局 6名
- ・市町村 8自治体 11名
- ・一部事務組合 2団体 2名
- ・民間事業者 2団体 7名

1

○ 第1回 連携強化WG

●内容

話題提供①：連携の重要性に係る事例紹介

意見交換①：協定締結状況

- ・自治体や一部事務組合・広域連合、民間事業者との協定締結状況、災害対応についての協議や取り決め状況について

意見交換②：連携事項と課題

- ・道内市町村が災害で被災した際の災害廃棄物処理を円滑に進めるために、どのような事項で連携が必要か
- ・それらの連携を円滑に進めるにあたっての課題・問題点など

意見交換の様子（オンライン）			
自治体・一部事務組合	道庁（総合）振興局・市町村・一部事務組合との連携	事業者その他の連携	課題・問題点など
自治体・一部事務組合	道庁/振興局情報共有と支援要請、被害自治体の誰が要請するか内部で確認したい。	廃棄物事業者協定の締結や災害発生時の臨時作業依頼ができる仕組みづくりなどが必要。	課題、問題点など事案となる事例や文面を調査する人員が少ない。計画ではなく臨時にして有償化、道の動きに合わせることもあった。
自治体・一部事務組合	他の市町村協定に基づく行動計画や目安などの設定。	その他事業所協定に基づく行動計画や目安などの設定。	
自治体・一部事務組合	一部事務組合/災害発生時の行動を再確認する。	災害廃棄物処理の協定例を参考に地元収集事業者と協定を考えています。	の機会とも協定を結びたいというが、道内がわからないです。
（総合）振興局	本庁（総合）振興局・市町村・他府県との連携	事業者その他の連携	課題・問題点など
（総合）振興局	道庁/市町村：災害廃棄物処理に関する情報提供、補助制度の活用に係る被災市町村との調整。	関係団体：災害廃棄物処理に関する情報共有、災害廃棄物の円滑な処理に向けた協定の締結。	課題・問題点など：大規模災害は数年に一度に発生するもの、事案解決に向けたノウハウの継承や人育成が課題。

2

○ 第1回 連携強化WG

●主な課題、意見（1）

全般

- ・具体的な知識、ノウハウが不足。ノウハウの継承や人材育成が難しい。
- ・広域処理対応：処理可能量不足、離島からの島外排出など
- JR貨物や海路の活用について前例を確認したい

市町村

- ・対応人員が少ない、作業時間が捻出できない（事例等調査、計画策定）。
- ・協定を締結したいが、相手先、窓口や締結の進め方が分からない。
- どの事業者がどのようなノウハウをもっているのか情報提供してもらいたい。
- 昨年度に引き続き、北海道地方環境事務所による説明の場を設けてほしい。
- 事業者の災害廃棄物処理のノウハウについて情報共有するのは困難。
- 被災地との協定がないために支援不可となることはないが、迅速な対応をとるためには事前の協定締結、情報共有のための各種行動が重要。
- ・一部事務組合の構成自治体間で相互連携がとりにくい。

（総合）振興局

- ・管内で災害廃棄物処理計画を策定している自治体が少ない。
- ・道庁が民間事業者と締結する協定について、詳細が未定のものがある。

3

○ 第1回 連携強化WG

●主な課題、意見（2）

一部事務組合

- ・構成自治体の災害廃棄物処理計画をもとに組合の災害廃棄物処理計画を策定し、構成自治体の災害廃棄物処理について連携を図っていきたい。
- ・構成自治体との連絡体制：災害廃棄物発生量、種類の情報収集

民間事業者

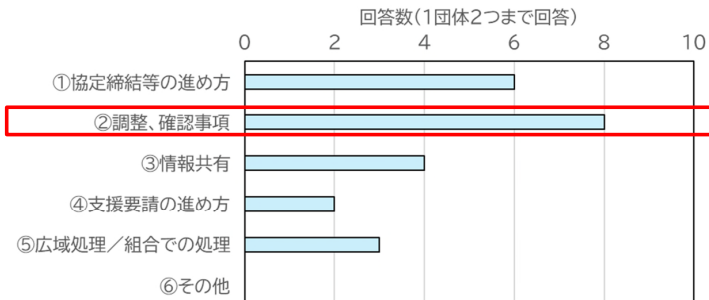
- ・会員企業が対応可能かどうか、どの程度対応できるか。（自社被災時、被災箇所集中時）
- ・優先順を基にした支援団体毎の作業内容の決定
- ・市町村からの情報提供が必要。（仮置場の広さ、箇所数等）
- ・市町村が業界団体に依頼したいこと、業界団体が引き受けられることについて綿密に協議しなければいけない。
- ・情報提供について：情報提供先はどこになるのか。廃棄物種別毎の受入先及び受入条件のとりまとめを北海道にお願いしたい。
- ・自治体と支援者との連絡調整員の配置、各市町職員の専属選任
- ・定期的な作業単価の設定見直しも必要。

4

○ 第1回連携強化WG後アンケート

●第2回WGで詳細に検討を希望する事項

- ・ワーキンググループメンバーを対象として第2回WGで詳細に検討を希望される事項等についてのアンケートを行い、13団体から回答をいただいた。
- ・メンバーの団体区分によらず重要な課題として、「平時に調整、確認する事項」を第2回WGの意見交換テーマとした。



○ 第2回 連携強化WG

●内容

話題提供②：事業者との連携、平時に調整・確認する事項等に係る事例紹介

意見交換③：平時に調整・確認する事項と課題

- ・今後災害廃棄物処理に係る連携を図るため、平時からどのような相手先と、どのような事項について調整・確認が必要か
- ・調整・確認を進めるにあたって考えられる課題

意見交換④：課題解決の方策

- ・意見交換③で挙げられた課題に対する解決の方策

①→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
②→市町村と災害発生時における対応に連携強化を図る。	市町村には多様な災害を想定しなければならず、多大な労力が必要になる。
③→市町村と災害発生時における対応に連携強化を図る。	市町村には多様な災害を想定しなければならず、多大な労力が必要になる。
④→災害発生時に、計画を策定している自治体が少ない。自治体間の連携強化を図る。	市町村には多様な災害を想定しなければならず、多大な労力が必要になる。
⑤→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑥→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑦→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑧→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑨→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑩→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑪→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑫→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑬→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑭→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑮→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑯→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑰→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑱→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑲→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
⑳→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉑→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉒→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉓→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉔→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉕→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉖→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉗→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉘→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉙→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉚→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉛→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉜→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉝→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉞→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㉟→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊱→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊲→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊳→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊴→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊵→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊶→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊷→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊸→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊹→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊺→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊻→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊼→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊽→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊾→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。
㊿→町内自治体の関係機関に、廃棄物の処理に関する情報を提供し、情報共有を図る。	市町村からは、人員不足、業務量過多のため作業が進んでいないとの声もある。

意見交換の様子
(オンライン)

○ 第2回 連携強化WG

●平時の調整・確認を進めるにあたっての課題と解決の方策（1）

区分	課題	解決の方策
連絡・調整	発災時の連絡・調整	・平時からの意見交換及びミーティング、課題の抽出（市町村—一部事務組合、事業者間）災害時についての連絡調整 ・振興局単位で自治体と協会支部、民間事業者とで話を行う場を設けてほしい。各市町村の要請事項を把握していただき、事業者の紹介をしてほしい。 ※ 停電時の連絡方法について、今後の課題として検討が必要。（自治体における自家発電用の発電機及びその運転のための燃料を平時から確保する等）
情報共有	平時の情報共有（計画策定等）	・管内市町村への働きかけ、情報共有の強化（振興局） ・計画策定には災害廃棄物発生量推計等、北海道や環境省のサポートが必要では。（市町村）

○ 第2回 連携強化WG

●平時の調整・確認を進めるにあたっての課題と解決の方策（2）

区分	課題	解決の方策
要請・対応内容	市町村からの要請内容確認、協会として対応可能な範囲の把握	・自治体や地元業者で対応可能な部分の整理をし、地元外の事業者へ依頼したい事項を整理する。 ・普段から綿密な打ち合わせを行う。 ・廃棄物の性状・数量・品目等の処分先のリストアップをすべき。 →一般廃棄物、産業廃棄物処理施設について北海道が把握している情報をどの程度公表可能か？
要請・対応内容	協会員に協定に関する理解を求めこと（事業者）	・市町村が求めることと協会ができることの協議が必要。 ・協会内部での理解も必要。
資機材・処理処分先	民間事業者（強み）の把握	・各協会を窓口として人員、車両の種類と台数等一覧を作成（事業者） ・各社拠点、収集運搬と処分場（自治体・民間）の地図を作成（事業者）
資機材・処理処分先	所有車両・資機材・人員の把握	・リース会社との協定（市町村） ・災害ごみ種・量を想定して対応できる車両を選定、想定量の共有
資機材・処理処分先	収集運搬機材への給油の優先	・国、道及び市町村と石油会社との災害協定

○ 第2回 連携強化WG

● 平時の調整・確認を進めるにあたっての課題と解決の方策（3）

区分	課題	解決の方策
ノウハウ・ 人員	ノウハウ・人員不足 対応時間が確保でき ない 協議内容が多岐にわた る	・ 仮置場候補地での実地訓練（官民・ボランティアセンター等関係者） ・ 中間・最終処分業者からのノウハウの提供、発災時の運営補助要請 ・ 環境省の災害廃棄物対策情報サイトの積極的な利用 ・ 市町村任せにせず積極的な情報収集、意見交換（振興局）
ノウハウ・ 人員	協定締結に向けての 進め方、契約事務の ノウハウ不足	・ 被災経験地域からの情報収集 ・ シミュレーションの実施
ノウハウ・ 人員	担当部署、協定先が 多い	・ 具体的な計画の調整を含めた包括的、政策的な防災計画や災害廃棄物処理計画を構築する